

# 「せんせい ふやそう」署名にご協力を!

教職員の長時間過密労働は社会問題。解決への道は人をふやすこと。

※「せんせい」は、学校ではたらくすべての教職員のことをさしています。

学校で働くみなさん、毎日慌ただしく過ごしていませんか。

世間では「働き方改革」が叫ばれ、今や、教職員の長時間労働の問題は社会問題です。しかし、学校はますます忙しくなるばかり。2019年1月に中央教育審議会が答申で示した「1年単位の变形労働時間制」の導入という対策では、超勤の実態が可視化されないまま「1日8時間労働」の原則が崩れてしまい、長時間労働に拍車がかかることは容易に想像できます。これでは健康で安心して働くことができません。

この深刻な学校現場の状況を改善するには、人を大幅に増やす以外に方法がありません

全教の「せんせい ふやそう」キャンペーンのとりくみが、全国で広がっています。今こそ「教職員の数を増やせ!」の声を大にして東ねましょう! 「せんせい ふやそう」署名に、ぜひご協力ください。ネットで署名して、シェアなどで拡げてください。教職員だけでなく誰にも協力いただく署名です。手書きを望まれる場合は、右面を使って、お手数ですが署名用紙部分を切り取って職場の組合員にお渡しください。

## QRコードで署名サイトにアクセス、ネットで署名!

右下のQRコードを読んで、署名サイトにアクセスしてください。

賛同とともに、シェアなどでたくさんの方に拡げてください。

パソコンからならば、

URL: <http://chng.it/YNMhpMsJcN>

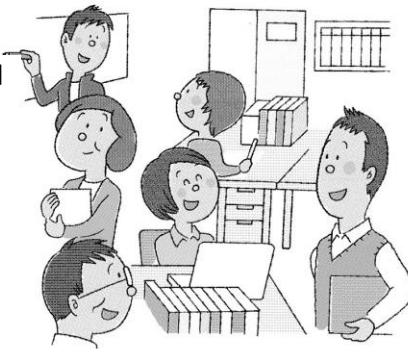
で署名サイトにアクセスできます。「せんせいふやそう」で検索も可

ネット署名が難しい場合は、右面の署名用紙部分を使ってください。

教職員だけでなく、誰にも協力いただく署名です。家族や知人に拡げてください。

■小・中・高・特別支援学校を含め、すべての学校の教職員の1日あたりの実勤務時間は、通常時でさえ平均11時間17分(所定時間は7時間45分)で、1か月あたり平均77時間44分の時間外勤務です。

■教職員のゆとりと健康あってこそその、子どもたちの成長・発達です。教職員の大幅増員を求める声をひろげてください。



せんせい ふやそうキャンペーン実行委員会

連絡先: 〒102-0084 東京都千代田区二番町12-1  
 全国教育文化会館3階 全教気付  
 TEL: 03-5211-0123 FAX: 03-5211-0124  
 E-mail: sensei.fuyase2019@gmail.com

ネット署名に  
change.org  
ご賛同を!



右面でも署名できます→

なくそう長時間労働  
ふやそう  
せんせい。

署名の対象は、教職員に限りません。どなたにでも協力していただける署名です。インターネットで署名していただけます。家族や知人に拡げてください。

## 長時間労働をなくすため、せんせいをふやしてください

内閣総理大臣 様  
 文部科学大臣 様

### 1 教職員を大幅に増やしてください

小・中・高・特別支援学校を含め、すべての学校の教職員の1日あたりの実勤務時間は、通常時でさえ平均11時間17分(所定時間は7時間45分)で、1か月あたり平均77時間44分の時間外勤務です。教職員のゆとりと健康あってこそその子どもたちの成長・発達です。教職員が所定の勤務時間の中で、子どもたち一人ひとりにしっかりよりそい、教育本来の仕事ができるようにしてください。

### 2 「1年単位の变形労働時間制」の導入はやめてください。

中央教育審議会は、教職員のふだんの勤務時間を延長し、かわりに夏休みなどの勤務時間を縮める「1年単位の变形労働時間制」の導入を答申しました。しかし、文部科学大臣の柴山昌彦氏は、「变形労働時間を導入することで、教師の業務や勤務が縮減するわけではない」と述べています。それどころか、所定の勤務時間の延長によって、1日8時間労働の原則が崩され、長時間労働がいつそう助長されてしまいます。

お名前	
私も、一言	

せんせい ふやそうキャンペーン実行委員会  
 (取り扱い団体: 兵庫県高等学校教職員組合)

## 手書きなら

お手数ですが、破線で署名用紙部分を切り取って、職場の組合員にお渡しください。

## 超勤実態調査にもご協力を!

高教組が今年は6月に超勤実態調査を実施しています。ご協力ください。



一人ひとりが大切にされる教育を

「せんせい ふやそう!」の声を社会に拡げて、学校で働く教職員を増やし、学校を健康で安心して働ける職場にしましょう!